

概要

本機は、テレビドアホン※に増設（登録）して使用するコンパクトタイプのセンサー付屋外ワイヤレスカメラ（カメラ）です。本機のセンサー（動作検知と人感（熱）センサー）が不審者等を検知すると、登録したドアホン親機、子機に呼出音と映像でお知らせします。設置場所によってセンサーの検知範囲を設定できるセンサーキャップ機構を採用しました。

※ 2015年9月発売時、接続できる機器

〈302/303 シリーズ〉

VL-SVD302KL/SWD302KL/VL-SVD303KL/SWD303KL

〈501 シリーズ〉

VL-SVD501KL/SWD501KL/VL-SVD501KS/SWD501KS

特長・機能

(1) 建物の外観に調和したスタイリッシュなデザイン

コンパクト設計により、建物の外観を損ねにくいデザインに仕上げました。
夜間は、カメラに搭載した赤外線 LED によって、白黒映像にて写します。

(2) センサー検知機能

センサーは動きの変化を検知して反応する「動作検知」と、温度変化を検知して反応する「人感（熱）センサー」の2種類を搭載しています。本機のセンサーが不審者等を検知すると、ドアホン親機と子機に呼出音と映像でお知らせします。

(3) モニター機能

カメラ周辺の様子を映像でドアホン親機と子機で確認できます。必要に応じて、カメラ側へ呼びかけやお知らせ音を鳴らすことができます。

(4) カメラの増設（登録）

本機はドアホン親機に4台まで増設（登録）可能です。ワイヤレスのため、テレビドアホンとの配線は不要です。

(5) SD カードへ録画可能

カメラの録画にはSDカード（別売）が必要です。カメラ映像は、テレビドアホンに挿入されたSDカードに最大約30秒の静止画（連続画像）で自動録画します。ドアホン映像と合わせて最大3,000件まで録画可能です。

(6) その他の機能・特長

- センサー検知について
センサー検知やモニターによりドアホン親機や子機に映像を表示している間や、映像表示終了後から約10秒間は、検知を行いません。
映像表示を終了してからセンサー検知を行うまでの時間は、変更できます。
- センサー反応音について
センサーが検知したときにカメラ側で鳴る音です。
音量や音の種類、音を鳴らさないようにするなどの設定ができます。
- お知らせ音について
センサー検知による着信中やモニター中など、室内でカメラ映像を見ているときに、ドアホン親機や子機の操作で、カメラ側に鳴らすことができます。
音の種類や音量は変更が可能です。

概要／特長・機能

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

撮影する映像について

■ テレビドアホン「302/303/501 シリーズ」に接続したとき

静止画（連続画像）で撮影します。テレビドアホンでは、この連続画像を次々に更新しながら表示します。（動画ではありません）
〈センサー検知による撮影の場合〉

「検知前録画」の設定により、撮影タイミングが変わります。

例) テレビドアホン「501 シリーズ」の場合→本書（P.6）「検知前録画」

「検知前録画」 の設定内容	撮影する映像					
	1 枚目*	2 枚目*	3 枚目*	4 枚目*	5 枚目	6 枚目以降
1 秒前から 録画（初期値）	検知の 約 1 秒前	検知直後	検知の 約 2 秒後	検知の 約 3 秒後	検知の 約 5～6 秒後	5 枚目を 撮影後、 約 1 秒おき
2 秒前から録画	検知の 約 2 秒前					

※ 親機に「戻って再生」機能があるときは、この 4 枚が「戻って再生」時に再生されます。



〈モニター機能による撮影の場合〉



◎ 接続したドアホン親機に関わらず、カメラの周囲が暗いときは、被写体の映像がぶれる場合があります。

《使用上のお願い》

● 正しくお使いいただくために

- レンズカバーや人感（熱）センサーにキズや汚れをつけないでください。（きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなくなったり、変形や故障の原因になります）
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。（撮像素子が破損する原因になります）

● 電波について

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です。本機には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9-D

- J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。

J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

- 本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

● プライバシー・肖像権について

- カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

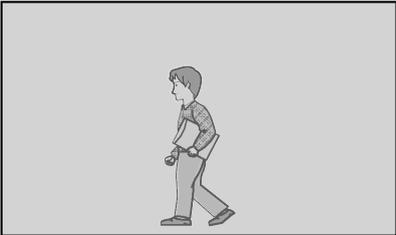
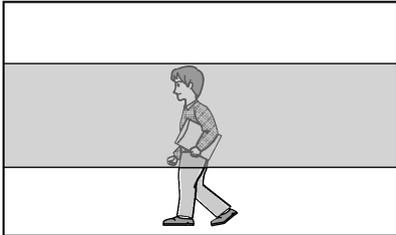
撮影する映像について

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

センサーについて（動作検知と人感（熱）センサー）

本機には、「動作検知」と「人感（熱）センサー」の2つのセンサーがあります。特性を理解したうえで、適切な場所に設置してください。

■ センサーの特性と検知範囲について

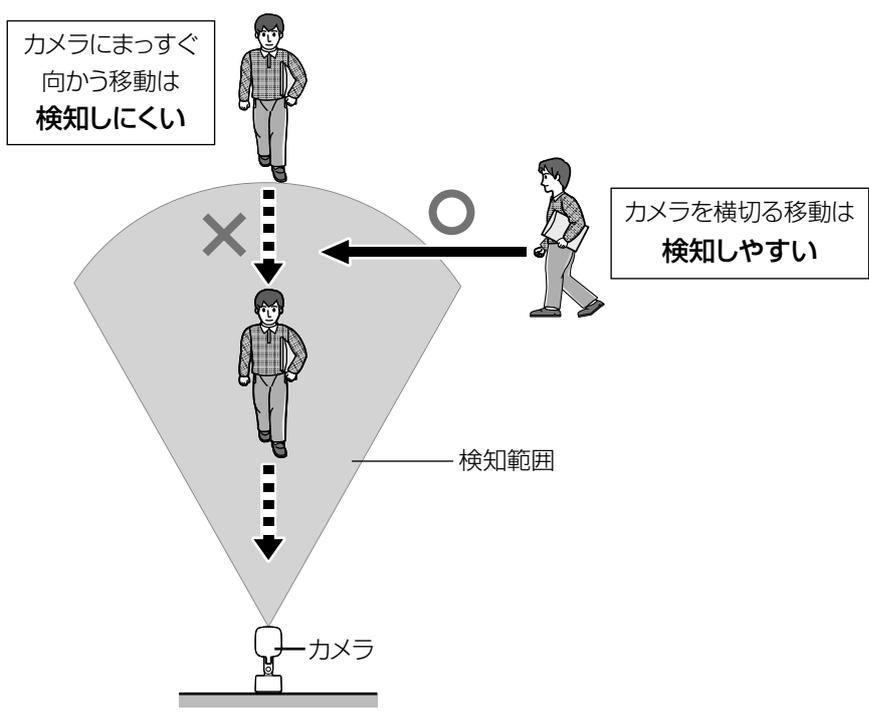
	動作検知	人感（熱）センサー
検知方法	撮影範囲内の、動きの変化を検知 ● 動体の輝度変化によって検知します。	撮影範囲内の、温度変化を検知 ● 人や動物など、温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知します。
主な特性	昼間、または明るい場所では検知しやすい ● 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。 ● 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知することがあります。	夜間や冬場など外気温が低いときは、被写体と外気温の差が大きくなり、検知しやすい ● 昼間や夏場など外気温が体温に近くなると、検知しにくくなります。 ● 車のマフラーやボンネットなど、外気温との差が大きいものにも反応するため、撮影方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。
検知範囲	撮影範囲全体  ● 動作の検知範囲は、設定により変更できます。 例) テレビドアホン「501 シリーズ」の場合 →本書 (P.6) 「動作検知範囲」の設定をする その他の機種の設定方法は、ご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。	撮影範囲の一部（中央の網掛け部）  ● 人感（熱）センサーの検知範囲は、付属のセンサー範囲調整キャップで変更できます。使用方は施工説明書をお読みください。

センサーについて（動作検知と人感（熱）センサー）

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

動作検知・人感（熱）センサー共通

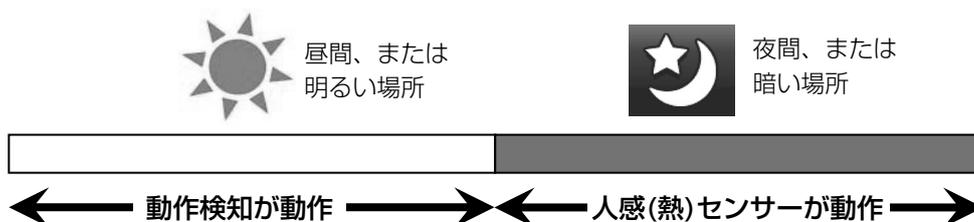
検知しやすい／検知しにくい向き



- 動作検知、人感（熱）センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知、人感（熱）センサーを使わないことをお勧めします。
- センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■ センサーの動作範囲について

お買い上げ時の設定の場合、本機のセンサーは、明るさの変化によって下記のように動作します。



- 明るさの判断は、映像の明るさに応じてカメラが自動で行います。
- 設置環境などに応じて、各センサーを動作させる時間帯を変更することもできます。
例) テレビドアホン「501 シリーズ」の場合
→ 本書 (P.5) 「人感センサー検知モード」「動作検知モード」「昼夜切り替え」の設定を変える
その他の機種の設定方法は、ご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください

センサーについて(動作検知と人感(熱)センサー)	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

機能の設定、変更について

この機能設定一覧は、テレビドアホン「501 シリーズ」に接続した場合のものです。
設定できる機能や設定内容は接続したテレビドアホンによって異なります。

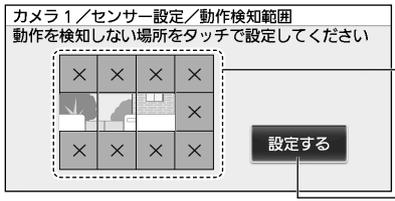
設定のしかた（例：テレビドアホン「501 シリーズ」）

- ① ドアホン親機のトップメニューから、[設定 / 情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → カメラ番号の順に選ぶ（タッチする）
- ② 設定する項目名 → 設定する機能名の順に選ぶ
- ③ 設定内容を変更する

「センサー設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
センサー選択	人感センサーのみ、人感センサー+動作検知、OFF ● 使用するセンサーを選びます。 「OFF」を選ぶと、いずれのセンサーも反応しません。 ● 設定画面には「外部センサーのみ」「人感+外部センサー+動作検知」も表示されますが、本機では機能しないため、設定できません。	人感センサー+動作検知
人感センサー検知モード	夜間のみ、常時 ● 人感（熱）センサーで検知する時間帯を選びます。 「夜間のみ」を選ぶと、下記の「昼夜切り替え」の設定に従って人感（熱）センサーが動作します。	夜間のみ
動作検知モード	昼間のみ、常時 ● 動作検知で検知する時間帯を選びます。 「昼間のみ」を選ぶと、「昼夜切り替え」の設定に従って動作検知が動作します。	昼間のみ
昼夜切り替え	自動、タイマー ● 昼夜の切り替えを自動にするか、お好みのタイマー動作（時間設定）にするかを選びます。上記の「人感センサー検知モード」や「動作検知モード」を「夜間のみ」や「昼間のみ」に設定したときに有効です。 「自動」：周囲の明るさによって、カメラが自動的に昼夜を切り替えます。 「タイマー」：24時間のうち、夜間とする時間帯を自分で設定することで、昼夜の切り替えを任意の時刻に設定できます。	自動
映像終了後の無検知時間	10秒、30秒、60秒 ● センサー検知やモニターによる映像表示終了後、次にセンサー検知できるようになるまでの時間を選びます。頻繁にセンサーを動作させたくないときは、より長い時間を選びます。	10秒
人感センサー感度	高感度、標準、低感度、超低感度、検知しない ● 人感（熱）センサーの検知感度を選びます。 ・ 検知しにくいときは「高感度」、検知しすぎるときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準
動作検知感度	高感度、標準、低感度、超低感度 ● 動作検知の検知感度を選びます。検知範囲内の小さな動きの変化も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準

機能の設定、変更について

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

「センサー設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
動作検知範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時は、撮影範囲内のすべてにおいて動作検知を行います。検知させたくない場所があるときは、検知範囲設定画面で下記の操作を行い、その場所を「×」にしてください。  <p>カメラ1/センサー設定/動作検知範囲 動作を検知しない場所をタッチで設定してください</p> <p>〈設定のしかた〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 検知させたくないエリアをタッチして「×」にする（再度タッチすると「×」が消えます。） ② 「設定する」をタッチする 	すべて検知
検知前録画	<p>1秒前から録画、2秒前から録画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● センサー検知時の録画で、検知の約1秒前から録画するか、約2秒前から録画するかを選びます。 	1秒前から録画
センサー確認	<p>人感センサー、動作検知</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各センサーの検知状況を個別に確認できます。カメラの設置時など、設置環境下で各センサーが適切に反応するかを確認してください。（確認方法の詳細は施工説明書を参照） ● 設定画面には「外部センサー」も表示されますが、本機には機能がないため設定できません。 	—
録画のテスト	<ul style="list-style-type: none"> ● この機能を使うと、ドアホン親機にSDカードが挿入されていないときでも録画の確認ができます。画面の表示に従って操作を行い、センサー検知の際に検知前後の映像が適切に録画できているかを確認してください。 	—

- 上記のほかに、設定画面には「外部センサー接点」が表示されますが、本機には機能がないため設定できません。

機能の設定、変更について	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

「画面設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
明るさ	-3、-2、-1、0、+1、+2、+3 (映像が暗くなる) (映像が明るくなる) ● カメラの映像の明るさを調整できます。 映像の明暗が極端な場合などに調整してください。	0

- 上記のほかに、設定画面には「逆光補正」「照明自動点灯」「色ムラ防止」が表示されますが、本機には機能がないため設定できません。

「音の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
センサー反応音	● センサー検知時にカメラから出る音の種類や音量を選びます。	
音の種類	ピポピポピポ、ピロリロピロリロピロリロ、ポゥポゥポゥポゥ	ピポピポピポ
音量	大、中、小、切	大
お知らせ音	● カメラ側に鳴らす「お知らせ音」の種類や音量を選びます。	
音の種類	ピポピポピポ、ピロリロピロリロピロリロ、ポゥポゥポゥポゥ	ピポピポピポ
音量	大、中、小	大
送話音量	大、中、小 ● ドアホン親機や子機からカメラ側に呼びかける際に、カメラのスピーカーから出る音声の大きさを選びます。	中

- 上記のほかに、設定画面には「カメラマイク感度」が表示されますが、本機には機能がないため設定できません。

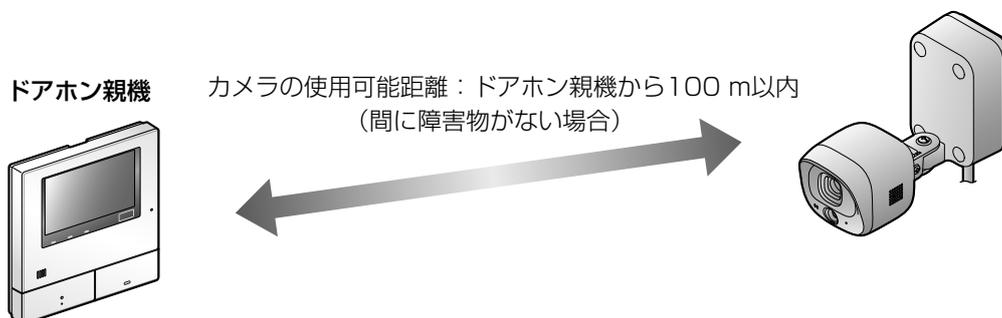
「その他の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
状態表示ランプ	常時、通信時、消灯 ● 状態表示ランプの点灯のしかたを選びます。 「通信時」を選ぶと、センサー検知やカメラモニターなどで、カメラとドアホン親機が通信しているときのみランプが点灯します。	常時
カメラ検知履歴	● センサー検知の履歴を表示します。(最新情報を24件まで) 	—
設定の初期化	● カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。(初期化をしてもドアホン親機には登録されたままです。登録情報は消えません)	—

機能の設定、変更について	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

設置上のお願い

設置の前に

本機は、ドアホン親機と無線で通信を行います。
下記をよくお読みのうえ、電波が安定して届く場所に設置してください。



■ ドアホン親機・カメラ間の通信について

距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。

- 金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

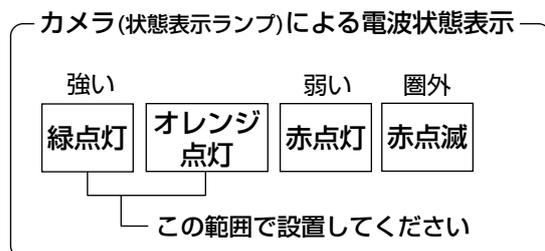
このような場合、ドアホン親機では映像の乱れや更新の遅れが起きたりして、使えないことがあります。
(このときカメラ側では、状態表示ランプが赤点灯または赤点滅します。
下記「カメラ (状態表示ランプ) による電波状態表示」)

- 上記のような場合、ドアホン親機とカメラの間に別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。詳細はご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。

■ 設置場所の電波状態を確認するには

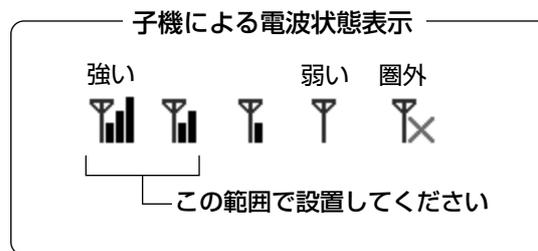
● カメラを使って確認する

カメラをドアホン親機に登録すると、カメラの状態表示ランプでドアホン親機からの電波状態を確認できます。



● テレビドアホンの子機を使って確認する

ワイヤレス子機付きのテレビドアホンにカメラを接続した場合、カメラの設置場所に子機を持っていくことで、ドアホン親機との電波状態を確認できます。



設置上のお願い(設置の前に)

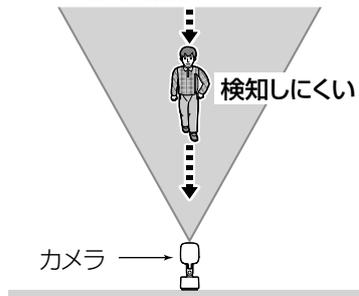
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

■ **こんなところには設置しない（変形・変色、故障・動作障害などを避けるために…）**

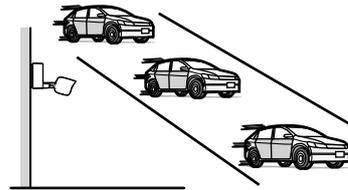
- 長時間、直射日光が当たる場所（特に猛暑日が続く地域）や外灯の真下など（周囲が動作温度内でも局部的に高温になるため、外気温が高い地域は軒下に設置するなどして遮光してください）
- 振動・衝撃や、反響の多い場所
- 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
- 冷・暖房機（室外機を含む）の近く
- 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
- 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
- 温度変化が激しい場所（結露しやすくなります。）
- 海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
- 硫化水素、アンモニア、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所

《次の場所は、特に誤検知の原因になります》

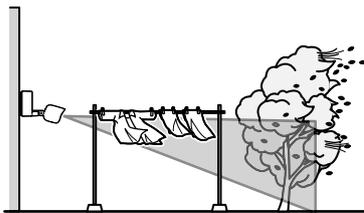
- 狭い通路などで、真正面から人物が近づいてくるような場所



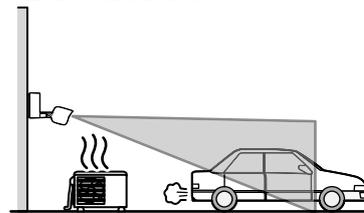
- 車の交通量が多い道路がある場所（約5m以上離れていても、車にはセンサーが反応します。）



- 風などで動くような植木、洗濯物などがある場所（温度や動きの変化による誤検知）

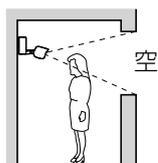


- 換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や車の排気ガスなどの影響を受ける場所（急激な温度変化による誤検知）



- 強風の吹く場所（カメラが風で振動するために、誤って動作検知することがあります。）
- 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 明るさが変わりやすい場所（昼間でも木陰などで影になる、夜でも外灯で明るくなるなど）
- 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。）

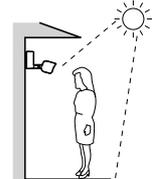
マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所



正面に、直射日光が反射する白壁がある場所



直射日光が当たるような、明るい場所

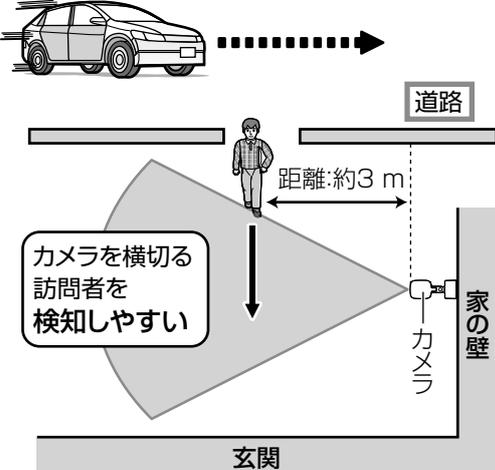
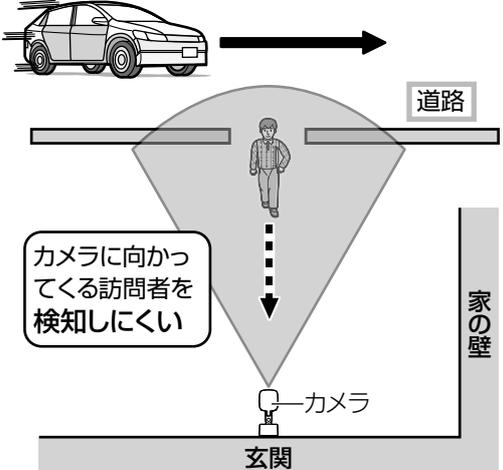
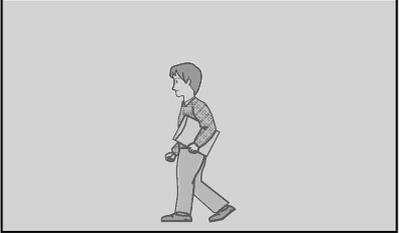
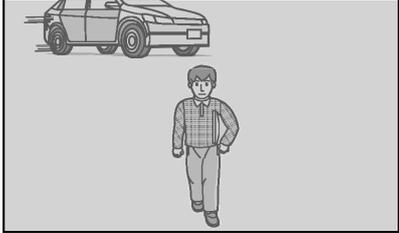


設置上のお願い(設置の前に)

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

設置例①（住戸への訪問者の検知）

（車道の車などは検知させず、玄関口（門）からの訪問者を検知したいとき）

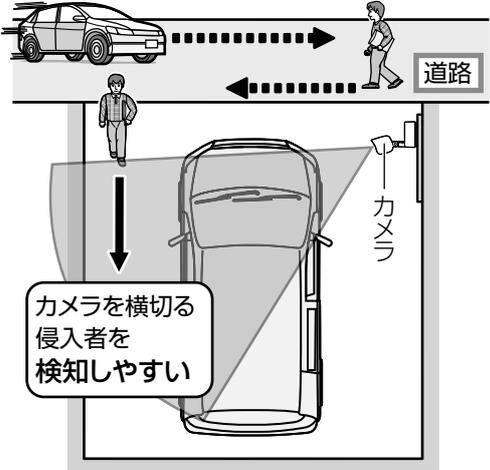
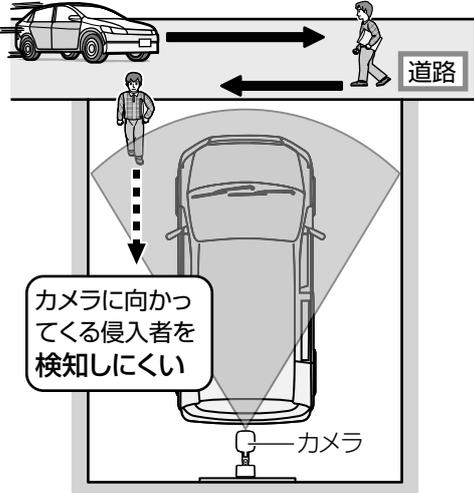
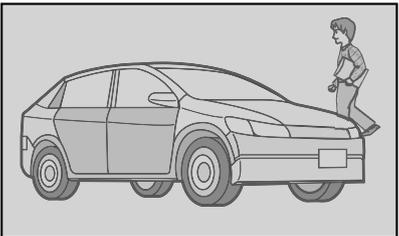
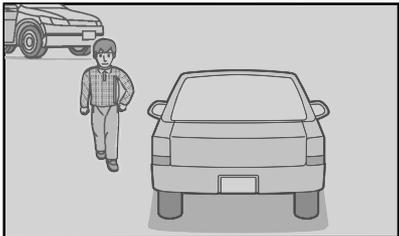
良い例	悪い例
 <p>カメラを横切る訪問者を検知しやすい</p> <p>距離:約3 m</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>道路</p> <p>玄関</p>	 <p>カメラに向かってくる訪問者を検知しにくい</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>道路</p> <p>玄関</p>
<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>訪問者は横向きに映りやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>撮影方向にある道路を通る車を誤検知しやすくなります。</p>

設置上のお願（設置例①（住戸への訪問者の検知））

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

設置例②（駐車場などへの侵入者の検知）

（車道の車は検知させず、駐車場の中に入ってくる人を検知したいとき）

良い例	悪い例
 <p>カメラを横切る侵入者を検知しやすい</p>	 <p>カメラに向かってくる侵入者を検知しにくい</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 車高の高い車の場合、侵入者の顔が車に隠れないよう、カメラの設置位置や角度を調整してください 	
<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>侵入者は横向きにやりやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>撮影方向にある車道の車を誤検知しやすくなります。</p>

工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
 - (2) 3.0 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
 - 使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁（電源線とその他の信号配線材の間）を設ける。
 - 金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
 - 配線材は AC600 V 以上の絶縁電線を使用する。
- 屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。（電源プラグは防水対応ではありません）

※電源コンセントや電源ボックスの設置については、配線工事業者へご相談ください。
- 空中配線はしないでください。（カメラが雷などの影響を受けることがあります）

設置上のお願ひ (設置例②(駐車場などへの侵入者の検知 / 工事について))	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

カメラを登録する

設置の前に、ドアホン親機への登録が必要です。

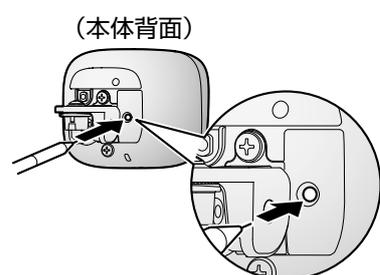
- 同時に複数のカメラを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- ドアホン親機側の操作は501シリーズの例です。
その他のテレビドアホンに登録する場合には、ご使用のテレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

1 ドアホン親機の操作

ドアホン親機のトップメニューから
[設定/情報] → [設定を変更] → [登録/減設] → [登録] → [カメラ]の順にタッチし、
登録するカメラ番号をタッチする

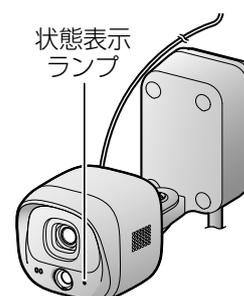
2 カメラの操作〈登録モードにする〉

カメラの電源を入れた状態で、下記のように背面の登録ボタンを押す



登録ボタンを先端の細いもので
約3秒間押す

- 登録中はカメラの状態表示ランプが緑点滅し、登録が完了すると「ピー」と鳴り、状態表示ランプが緑点灯に変わります。



カメラを設置する

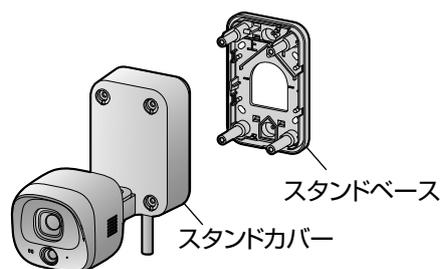
- 設置の前に必ず、カメラをドアホン親機に登録してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- 雨どいなどから直接水がかかる場所を避けて設置してください。
- 壁への穴開け工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
- 付属の安全ワイヤーを使用して、必ず落下防止対策を行ってください。
- 取り付け場所のねじ引き抜き強度は、1本あたり196N(20kgf)以上です。
(上記の引き抜き強度を確保できない場合には、必ず十分な強度を確保できる補強を行ってください)
- インパクトドライバーは使わないでください。(ねじの破損や締めすぎの原因になります)

外壁材の種類によって、使えるねじや取り付け方が異なります。取り付け前には必ず、外壁材の種類に応じた注意事項(本書(P.16, 17))をお読みください。

カメラを登録する / カメラを設置する

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

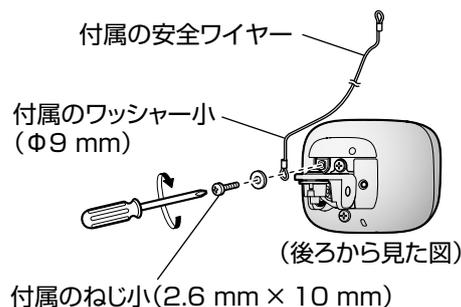
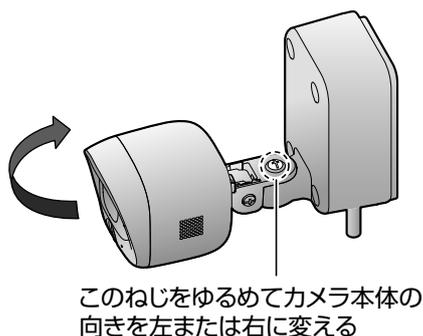
1 テープで仮止めされたスタンドベースをカメラから取り外す



2 付属の安全ワイヤーをカメラ本体に取り付ける

●安全ワイヤーはカメラ本体の裏側に取り付けます。

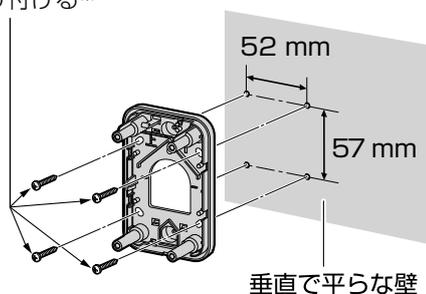
- ①カメラ本体の向きを右側に 90 度回転させる ②カメラ本体の裏側に、安全ワイヤーを取り付ける



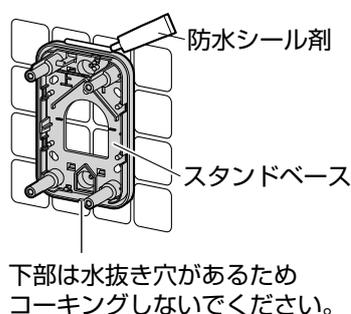
3 外壁材の種類に応じたねじ（4 本）を使ってスタンドベースを壁面に取り付け、コーキングする

(例) 外壁材がサイディングの場合

- ① 付属のねじ A (4 mm × 25 mm、先端が尖ったねじ) 4 本でしっかり取り付ける※



- ② 防水シール剤などで下部以外をコーキングする



※ 付属のねじ B (長さ 20mm、先端が尖っていないねじ) で取り付けないでください。

- スタンドベースは「上」の表示が上になるように取り付け、上記のようにコーキングして、すきまを埋めてください。
(上下を逆にしたり、防水が不完全な場合、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります)

カメラを設置する

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

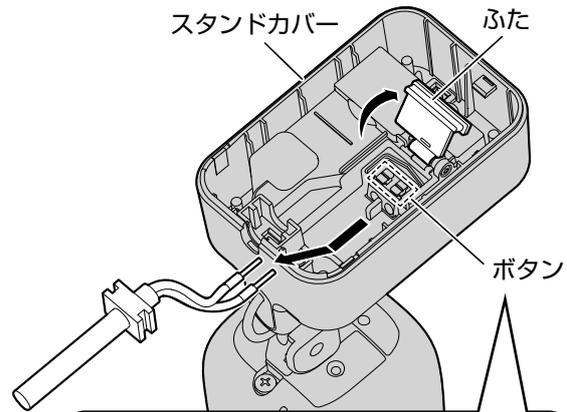
4

AC100 V 電源線を直結する場合のみ (VL-WD712X は必須)

※電気工事士の資格がない方は絶対に作業しないでください

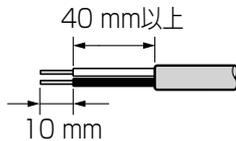
カメラに電源線を接続する

- ① スタンドカバーの裏面にあるふたを開ける
- ② 右図のボタンをドライバーの先などで押しながら付属の電源コードを取り外す (VL-WD712K のみ)
- ③ 直結する AC100 V 電源線を下記のように接続する



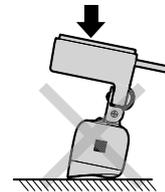
〈AC100 V 電源線の接続方法〉

1. 被ふくを 10 mm むく
(線種：φ 1.6 ~ φ 2.0 単芯線)

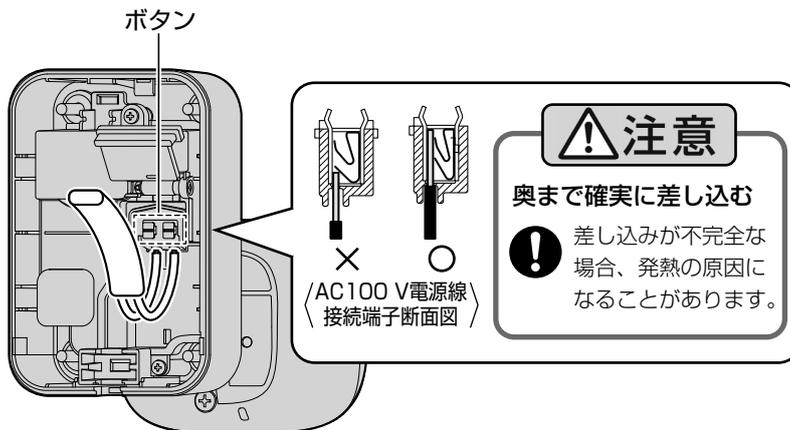


ボタンを押すときのお願い

カメラ本体を、床や壁に押し付けないでください。(カメラの傷付きや破損の原因)



2. ボタンを押しながら、AC100 V 電源線を奥まで差し込んで、ふたを閉める

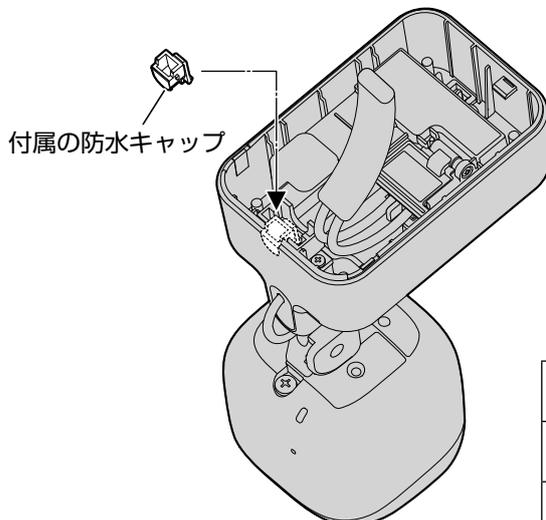


⚠ 注意

奥まで確実に差し込む

❗ 差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

- ④ 付属の防水キャップを図の位置に取り付ける (VL-WD712K のみ)

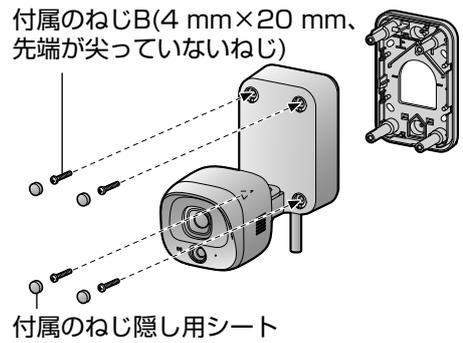


カメラを設置する

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

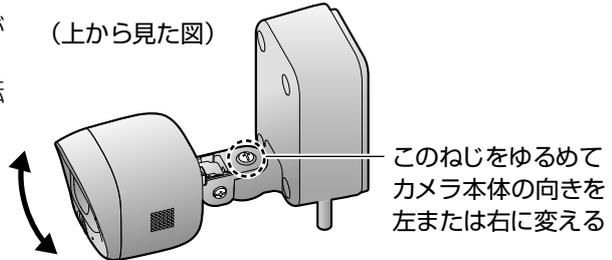
5 カメラをスタンドベースに取り付け、固定する
 付属のねじ B (4 mm × 20 mm、先端が尖っていないねじ)
 4 本で取り付けたと、ねじ隠し用シートを取り付けて
 ください。

- 推奨締付トルク
 1.0 N・m (10.2 kgf・cm)
- ねじ A (長さ 25 mm、先端が尖ったねじ) を
 使わないように注意してください。

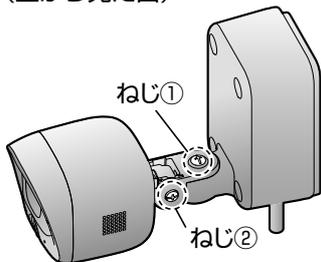


ねじを締めるとき

カメラ本体が正面を向いていると、ねじが
 締めにくくなります。
 右の要領でカメラ本体を左または右に回転
 させたあと、ねじを締めてください。



6 カメラ本体の角度を調整する
 (上から見た図)



〈左右の角度調整〉

1. ねじ①をゆるめ、左右の角度を調整する
2. ねじ①を締める

〈上下の角度調整〉

1. カメラ本体を片手で支えながら、ねじ②を
 ゆるめて、上下の角度を調整する
2. ねじ②を締める

- ねじ① ②の推奨締付トルク
 0.7N・m (7.1kgf・cm)

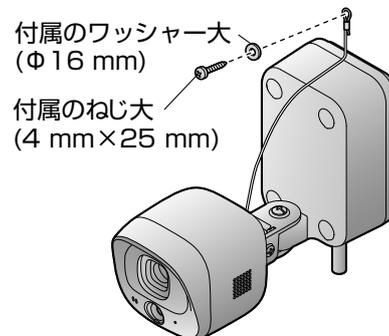
- ねじ②の反対側にある六角穴付ボルトは、
 角度調整ねじではありません。

7 電源を入れてカメラのモニター操作を行い、撮影範囲の映像を確認する

- カメラの電源コード (直結しないとき) は屋外用のコンセントに差し込んでください。
- カメラのモニター操作については、ご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。
 (ワイヤレス子機付きのテレビドアホンをご使用の場合は、カメラの設置場所に子機を持ち出し、
 カメラ映像を確認しながら、カメラの角度調整を行うことができます。)
- 撮影範囲がずれていたときは、カメラの角度を調整し直してください。

8 映像の確認やカメラ角度の微調整が終わったら、安全ワイヤーを壁に取り付ける

- 安全ワイヤーは、たわませた状態で取り付けて
 ください。
- 壁への取り付けについて
 「外壁材の種類に応じた注意事項」を必ずお守り
 ください (本書 (P.16) 参照)。
- 万一、カメラが壁から外れた場合に、人に当た
 らないように、安全ワイヤーは、なるべく高い場
 所に取り付けてください。
- カメラにぶらさがったりしないでください。



9 カメラのセンサー検知動作を確認する

カメラを設置する

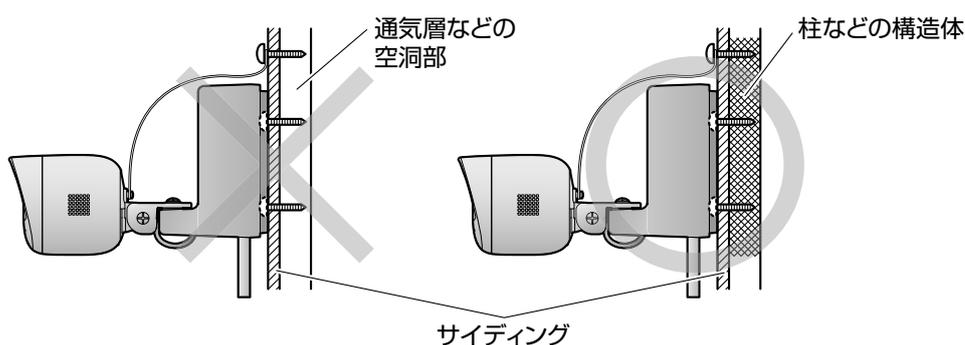
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

外壁材の種類に応じた注意事項

(1) サイディングの場合

- 付属のねじ A (呼び径 4.0 mm、長さ 25 mm) をお使いください。その際、ねじの引き抜き強度は、必ず 1 本あたり 196N (20kgf) 以上を確保できるように設置してください。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。^{※1}必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。^{※2}
 - サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじ (呼び径 4.0 mm、長さ 25 mm より長いもの) を使用してください。
- サイディングの材質に適したドリルで下穴を開けてください。下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。

お願い) サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。



※ 1 : 悪い例

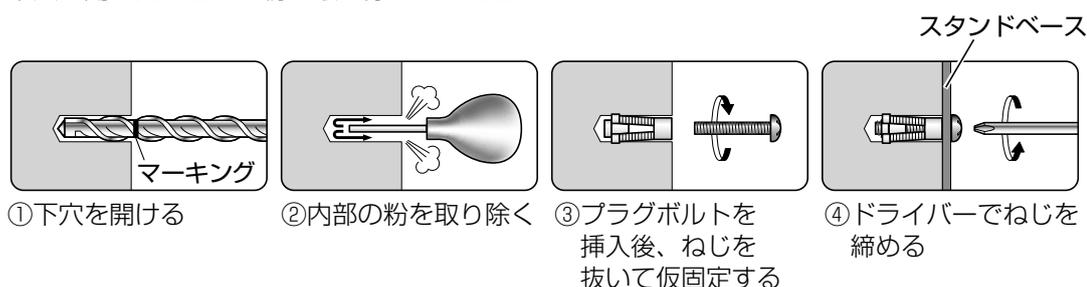
外壁材のみへの取り付けは禁止

※ 2 : 良い例

外壁材と構造体の両方に取り付ける

(2) コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。市販のコンクリート用プラグボルト (ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ ドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け時の注意
 - 取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを壁に取り付けてください。
 - 下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。



外壁材の種類に応じた注意事項

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

(3) ALC（軽量発泡コンクリート）の場合

- ALC パネルの種類（厚みなど）によっては取り付けられない場合もあります。
取り付ける前に、ALC パネルメーカーにお問い合わせください。

〈取り付け可能な場合〉

- 付属のねじは使えません。
- 必ず、市販の金属製の ALC 用アンカー（ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ ドライバーで締められるタイプ）をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け時の注意
 - ・取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
 - ・ALC 用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
 - ・下穴の周囲部を防水シール材（市販品）で防水処理をしてください。

(4) その他の壁（モルタル・タイル材など）

- 付属のねじは使えません。
住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカー使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

外壁材の種類に応じた注意事項

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

センサー感度／検知範囲の調整方法

人感（熱）センサーの場合

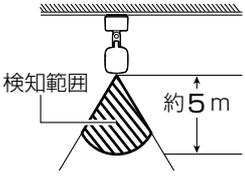
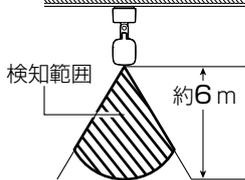
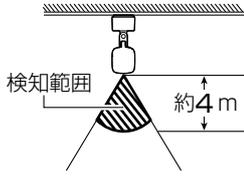
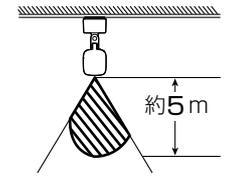
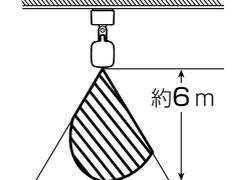
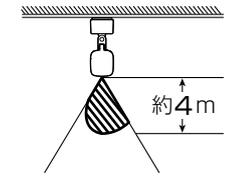
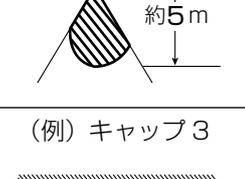
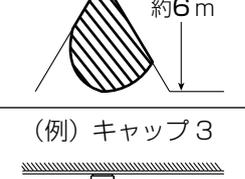
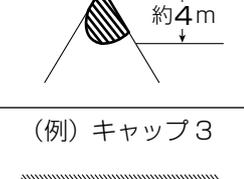
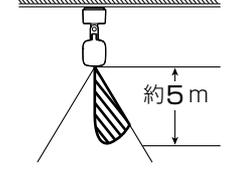
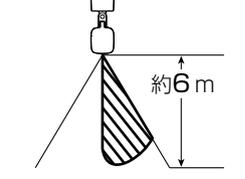
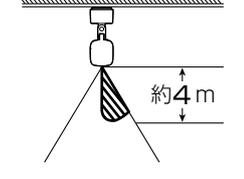
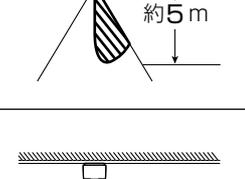
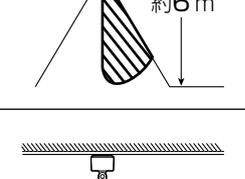
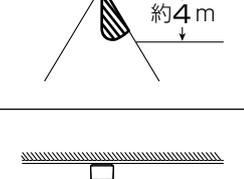
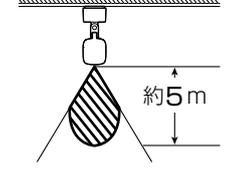
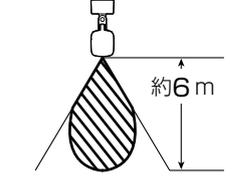
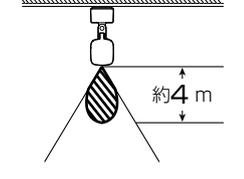
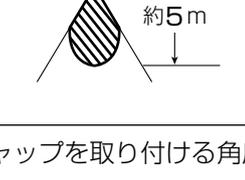
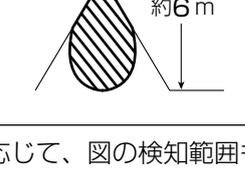
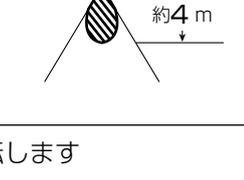
■ センサー範囲調整キャップを使う

人感（熱）センサーで検知させたくないものがある場合、センサー範囲調整キャップを取り付けることによって、検知範囲を調整することができます。

《センサー範囲調整キャップの種類と検知範囲》

標準のキャップ（本体に装着済み）のほかに、4種類（キャップ1～4）あります。各キャップは、ふさぐ範囲が異なり、45度単位で回転させて取り付けることができます。下記を参照のうえ、適切なキャップを適切な向きにして取り付けてください。

- 検知範囲は、「人感センサー感度」の設定が「標準」の場合の目安です。（カメラ設置場所の周囲温度により変わります）

キャップの種類	検知範囲の目安（カメラを上から見た図）		
	20° のとき	0° のとき	30° のとき
標準 （本体に装着） 			
キャップ 1 	(例) キャップ 1 	(例) キャップ 1 	(例) キャップ 1 
キャップ 2 			
キャップ 3 	(例) キャップ 3 	(例) キャップ 3 	(例) キャップ 3 
片側を検知させたくないとき 			
キャップ 4 			
両側を検知させたくないとき 			

※ センサー範囲調整キャップを取り付ける角度に応じて、図の検知範囲も回転します

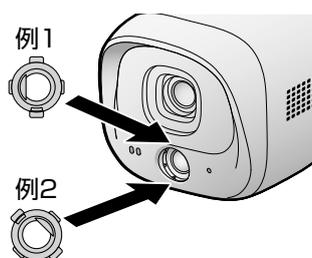
センサー感度／検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)

品番 VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)

品名 センサー付屋外ワイヤレスカメラ

**例1 カメラから見て右側に、検知させたくないもの
(隣家の壁や道路など) があるとき**

検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3
のいずれかを右図の向きで取り付ける



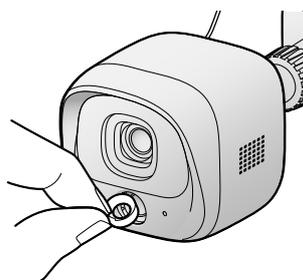
**例2 カメラから見て左上に、検知させたくないもの
(車道の車など) があるとき**



検知させたくない範囲に応じて、
キャップ1～3のいずれかを、
上図の向きで取り付ける

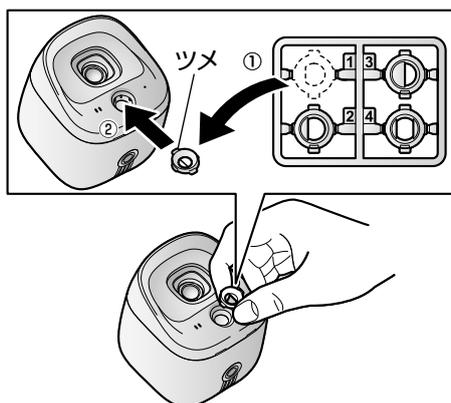
《センサー範囲調整キャップの取り付け》

① 下図のように、カメラ本体に装着済みの標準のキャップを取り外す



② 使用したいセンサー範囲調整キャップを枠から取り外し、カメラ本体に取り付ける

- キャップの種類や取り付け角度に応じて、キャップのツメを上方向または斜め45度に回転させてから、下図のようにカメラ本体に取り付けてください。



センサー感度/検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

■ 人感（熱）センサーの感度設定を変える

人感（熱）センサーの感度を変えることで、下図のように検知範囲を変えることができます。
感度の設定方法は、ご使用のテレビドアホン説明書をお読みください。

設定の変えかた（例：テレビドアホン「501 シリーズ」）

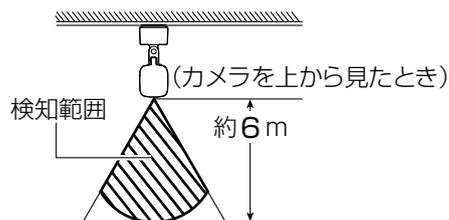
ドアホン親機の機能設定で、[接続機器の設定]→[カメラ]→カメラ番号→[センサー設定]→
[人感センサーの感度]→設定したい感度を4つのレベルから選ぶ（タッチする）

《人感センサーの感度設定と検知範囲》

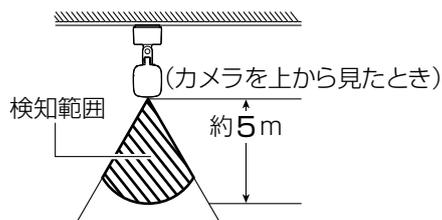
下記の検知範囲は目安です。（設置場所の周囲温度や環境により変わります）

[周囲温度：20° のとき]

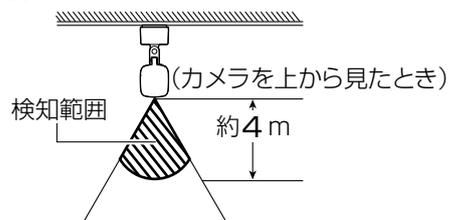
● 高感度するとき



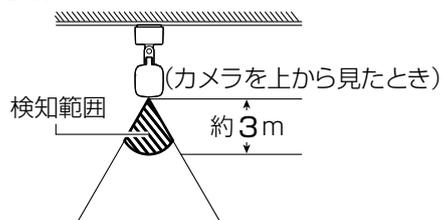
● 標準のとき（出荷時の設定）



● 低感度するとき



● 超低感度するとき



※ 「高感度」に設定すると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。
（設置場所の環境でやむを得ない場合のみ、この設定をご使用ください）

センサー感度／検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

動作検知の場合

動作検知の検知範囲設定を変える

車道など、撮影範囲内に動作を検知したくない場所（エリア）があるとき、検知範囲の設定を変えることで、検知範囲を絞り込むことができます。

検知範囲の設定方法は、ご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。

設定の変えかた（例：テレビドアホン「501シリーズ」）

ドアホン親機の機能設定で、[接続機器の設定]→[カメラ]→カメラ番号→[センサー設定]→[動作検知範囲]→12ブロックから検知させたくないエリアを選んで[設定する]をタッチする

例 画面上部に検知させたくない車道の車が映るとき

動作検知範囲の設定画面で、検知させたくない車道のエリアを選ぶ



動作検知の感度設定を変える

動作検知の感度を変えることで、動きの変化を検知するレベルを変えることができます。

感度の設定方法は、ご使用のテレビドアホン説明書をお読みください。

設定の変えかた（例：テレビドアホン「501シリーズ」）

ドアホン親機の機能設定で、[接続機器の設定]→[カメラ]→カメラ番号→[センサー設定]→[動作検知感度]→設定したい感度を4つのレベルから選ぶ（タッチする）

《動作検知の感度設定（4レベル）》

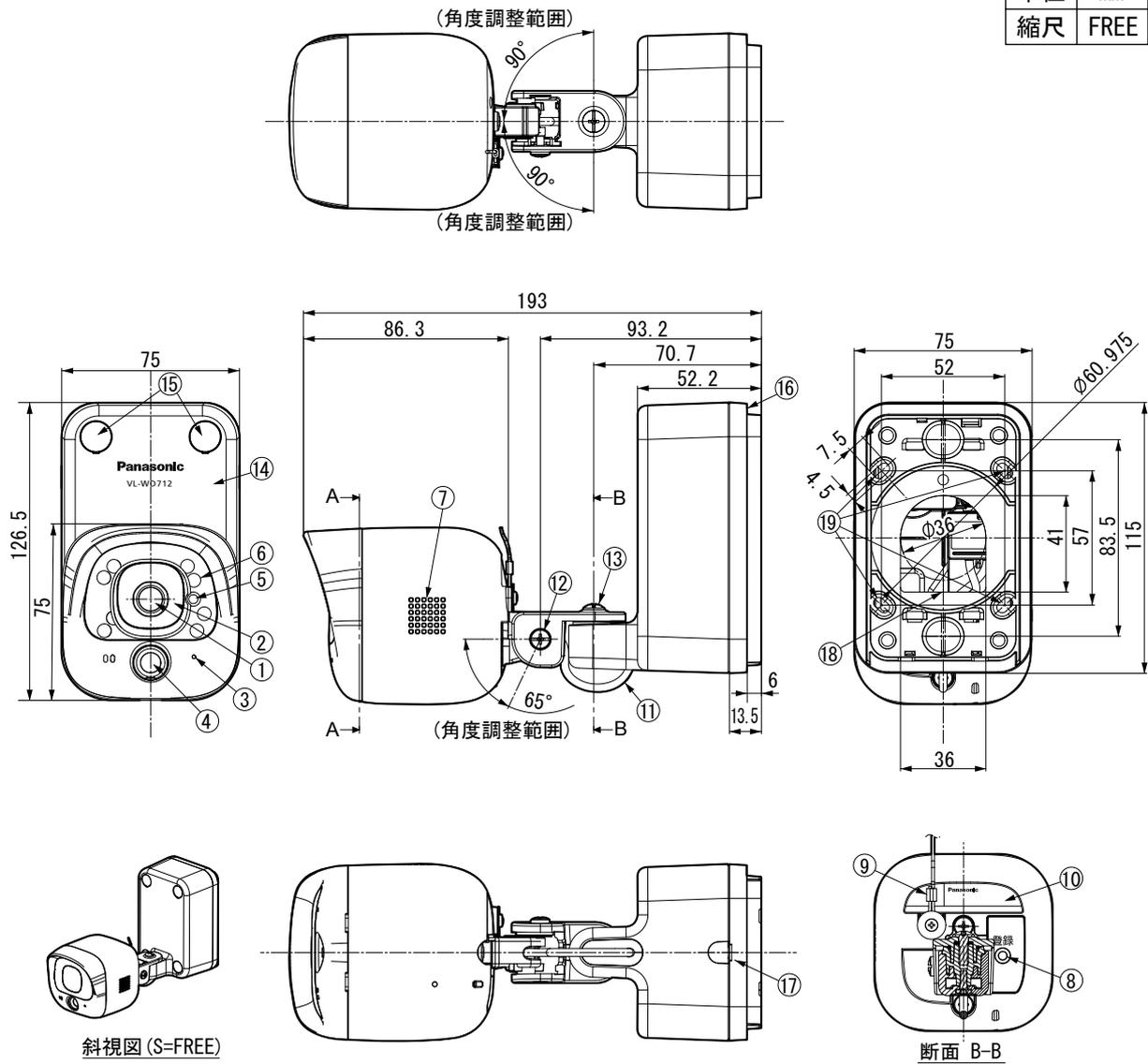
- 高感度
- 標準（出荷時の設定）
- 低感度
- 超低感度

小さな動きの変化も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくない場合は「低感度」「超低感度」を選んでください。

センサー感度／検知範囲の調整方法(動作検知の場合)	
品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

外形寸法図

単位	mm
縮尺	FREE



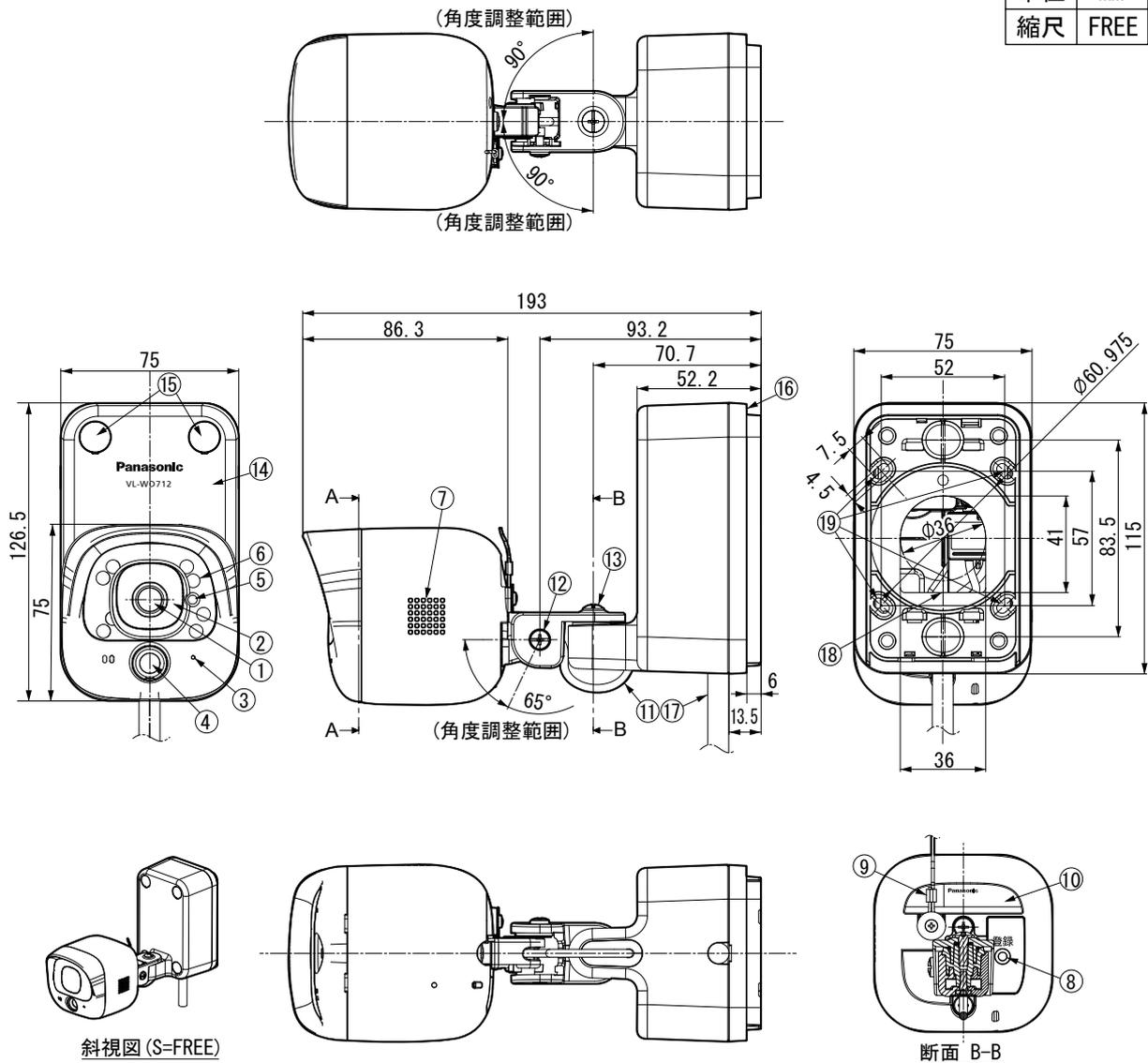
番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	レンズ	⑧	登録ボタン	⑭	スタンドカバー
②	レンズカバー	⑨	安全ワイヤー	⑮	ねじ隠し用シート
③	状態表示ランプ	⑩	定格銘板	⑯	スタンドベース
④	人感(熱)センサー	⑪	DCケーブル	⑰	防水キャップ
⑤	明るさセンサー	⑫	上下方向角度固定ねじ	⑱	屋内既設 AC100V 電源線通し口
⑥	赤外線 LED	⑬	左右方向角度固定ねじ		
⑦	スピーカー				

外形寸法図

品番	VL-WD712X (電源直結式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

外形寸法図

単位	mm
縮尺	FREE



番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	レンズ	⑧	登録ボタン	⑭	スタンドカバー
②	レンズカバー	⑨	安全ワイヤー	⑮	ねじ隠し用シート
③	状態表示ランプ	⑩	定格銘板	⑯	スタンドベース
④	人感(熱)センサー	⑪	DC ケーブル	⑰	電源コード
⑤	明るさセンサー	⑫	上下方向角度固定ねじ	⑱	屋内既設 AC100V 電源線通し口
⑥	赤外線 LED	⑬	左右方向角度固定ねじ		
⑦	スピーカー				

外形寸法図	
品番	VL-WD712K (電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

仕様

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力	待機時：約 2.8 W 動作時：約 5 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 126.5 × 75 × 193 (正面設置時、スタンドベース含む)
質量	VL-WD712X: 約 450 g VL-WD712K: 約 950 g (電源コードを含む)、約 450 g(電源コードを除く)
取付方法	専用スタンドベースを使用
外觀色調	ステンシルバー
外觀材質	PC+ABS樹脂、ABS樹脂、アルミニウム
使用環境条件	周囲温度：-10℃～+50℃ 湿度：20%～90%以下(結露なきこと)
通信可能距離	約 100 m (ドアホン親機との見通し距離)
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
撮像素子	CMOS 30 万画素
出力映像	JPEG 圧縮コマ送り映像
最低被写体照度	0ルクス*1
焦点距離	固定(約 0.5 m～∞)
撮影範囲(カメラ角度)	水平：約 70°、垂直：約 53°
センサー検知方式	人感(熱)センサー(焦電型赤外線センサー) および動作検知
センサー検知範囲	<ul style="list-style-type: none"> 人感(熱)センサー(周囲温度：約 20℃のとき) 水平：約 70°、垂直：約 20°、検知距離：約 5 m 動作検知 水平：約 70°、垂直：約 53°
防塵・防水性	IP 54*2
取付角度調整	水平：約±90°、垂直：正面～下方向へ約 65°(取り付け時に設定可)

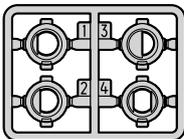
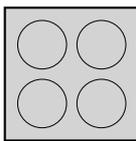
*1 周囲が暗いときは本機に内蔵の赤外線 LED が点灯して、映像を白黒で表示します。

*2 防塵性規格等級 5：機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル

防水性規格等級 4：あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

付属品

ご確認のうえ、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> ねじ A (4 mm × 25 mm)..... 4
先端が尖ったねじ
 | <input type="checkbox"/> 防水キャップ (VL-WD712K のみ)..... 1
 |
| <input type="checkbox"/> ねじ B (4 mm × 20 mm)..... 4
先端が尖っていないねじ
 | <input type="checkbox"/> センサー範囲調整キャップ 1 式
 |
| <input type="checkbox"/> 安全ワイヤーセット..... 1 式
<ul style="list-style-type: none"> 安全ワイヤー ねじ小 (2.6 mm × 10 mm) ねじ大 (4 mm × 25 mm) ワッシャー小 (φ 9 mm) ワッシャー大 (φ 16 mm)  | <input type="checkbox"/> ねじ隠し用シート..... 1
 |

●使わなかったセンサー範囲調整キャップは、再調整のときのために、大切に保管してください。

仕様／付属品

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ

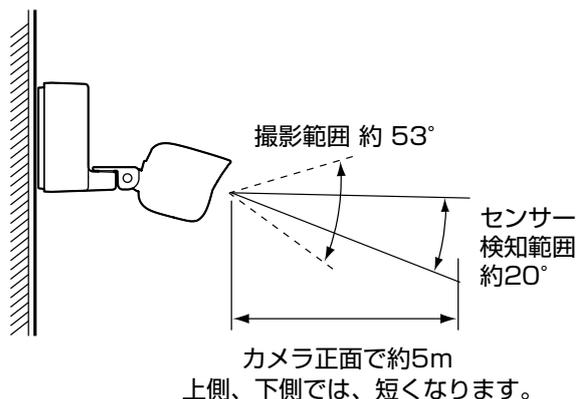
補足

■ ワイヤレスセンサーカメラ 検知範囲と撮影範囲

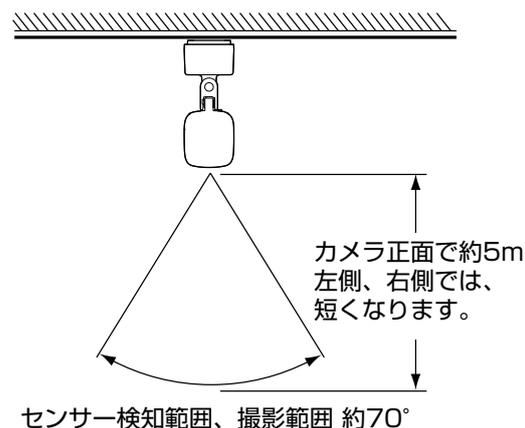
- 撮影範囲内に通行中の車、給湯器、エアコンの室外機、風で揺れる木、自動で点灯する照明などがあると誤発報の原因になる場合があります。センサーの誤報が発生しやすい場所を避けて設置ください。
- センサー検知帯を横切る向きの動きは検知しやすく、検知帯を横切らない正面からの動きは検知しにくくなります。

● 人感（熱）センサー（周囲の温度が約 20℃のとき）

カメラを横から見たとき

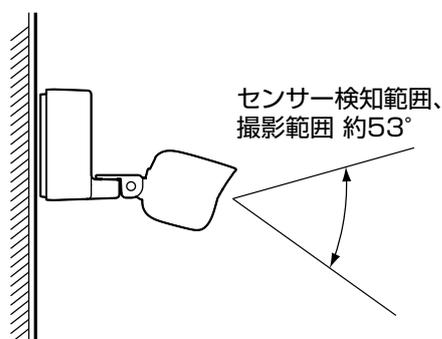


カメラを上から見たとき

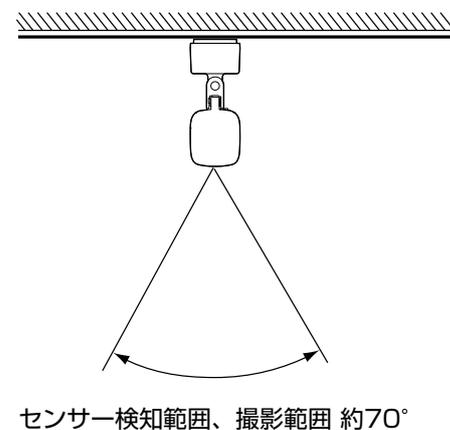


● 動作検知

カメラを横から見たとき



カメラを上から見たとき



補足

品番	VL-WD712X(電源直結式)/VL-WD712K(電源コード式)
品名	センサー付屋外ワイヤレスカメラ